



クラウド監視バイヤーズガイド

クラウド監視ソリューションを選択する際に
考慮すべき9つのポイント

クラウドの監視

ネットワークを維持・管理している場合、ほとんどのケースでクラウドリソースが使用されていると考えられます。実際、ある調査では、93%の企業がクラウドを利用していると答えており、多くの企業でクラウドサービスの利用がさらに拡大していくと予測しています。クラウドはスケーラビリティやアジリティといった、比類のないビジネス上の優位性を提供するので、クラウドの普及は理に合っています。ただし、クラウドリソースは他のネットワークリソースと同じように監視する必要があります¹。

93%
の企業が
クラウドを利用

クラウドサービスには管理ツールも含まれますが、それらのツールは、たいてい、本当に必要な問題解決には十分ではありません。クラウドリソースについては多くの情報が提供されても、ネットワーク全体のどこかに存在する問題について正確に解明するのに必要なすべての情報を提供してはくれません。クラウド・プロバイダのツールを利用して、エラーを探すのに別のログ記録をスクロールする必要があるとわかった場合は、本当に有用なクラウド監視ソリューションの導入を検討するべきでしょう。

では、クラウド監視ソリューションを検討する際に考慮すべきことは何でしょうか？クラウド監視が可能と称する製品は数多く市場に出回っていますが、このホワイトペーパーでは、購入者の立場に立ってどういった機能に注目すべきかを考察します。購入後に後悔しないよう、クラウド監視ソリューションの評価を始める前にこのガイドをお読みください。ソリューションに時間と費用をかけて、いざ使ったら機能が足りなかった、などという悲劇は、周到な準備で避けることができます。

クラウド監視ソリューション選択のポイント

クラウド監視ソリューション導入の予算がついて、マーケットプレイスで最適なソリューションを探すことになったとしましょう。何を探すべきか正確に把握できていますか？ソリューションを比較するための基準はありますか？何が主たる差別化要因になるのでしょうか？

クラウド監視ソリューションを検討および評価する際に考慮すべきポイントを、質問形式でまとめたのが次のリストです。すべてが個々のネットワークや要件に当てはまるとは限りませんが、すべてについてチェックすれば、要件を満たさないソリューションを候補から外すことはでき、ソリューション選択の指針になります。

1 組織にとって最も重要な指標とイベントを監視できますか？

最初の質問は、組織の要件について見直さなければならないので、検討するのに少し時間がかかるかもしれません。組織にとって何を監視するべきなのか、正確に見極める必要があります。測定可能なものをすべてレポートする必要はありません。組織が目指すゴールにとって重要な指標を見つけ出し、それらを念頭に置いて選択肢を評価してください。1,000個の異なる指標を粗雑に監視するソリューションよりも、重要な1ダースの指標をしっかりと監視するソリューションの方がおそらく望ましいでしょう。ネットワークで何をしているのかを正確に分析し、組織にとって何が有意義なのかを検討してください。その後で、検討中のクラウド監視ソリューションがそれらの要件に対応しているかどうかをチェックします。

2 すべてをコンテキストで把握できますか？

クラウド・ベースのリソースは、ネットワーク・インフラストラクチャ全体の一部に過ぎません。クラウドベンダーの管理ツールは、自社が提供するクラウドリソースについてのみレポートするものが多く、ネットワーク全体の状況を把握しようとする、複数のシステムからのデータを比較するという難題に取り組まなければなりません。クラウド監視ソリューションは、様々なテクノロジーが絡んでいる中で問題の根本原因を迅速に究明できるよう、すべて（クラウドリソースと物理リソース）をコンテキストで把握できることが求められます。

¹ クラウド監視の詳細については、イブスイッチの“[クラウド監視と9つのベストプラクティス](#)”をご参照ください。

3 全データを1つのプラットフォームに表示できますか？

経験豊富なIT管理者は、この重要性にピンとくるかもしれません。監視するクラウドサービスに加えて組織独自の物理ネットワーク・インフラストラクチャがあり、パフォーマンスを包括的に把握するには、単一のプラットフォームで様々なソースからのデータを統一された測定基準でレポートできるソリューションが必要です。クラウド・プロバイダの監視ツールは、おそらく既存の監視ソリューションと統合されていません。ある調査は、管理ツールが多すぎると、ネットワーク問題に対するIT部門の応答時間が著しく低下して、ITの生産性が損なわれることを示しています。ネットワーク環境全体にわたるレポートを作成できるツールを使用すると、トラブルシューティングが簡単、迅速に行え、責任のなすりつけ合いのような不毛な混乱に陥らなくて済みます。

4 悪影響が出る前に/自動的に対処できますか？

クラウドの問題には、悪影響が及ぶ前に対処できる必要があります。アクティビティが定義されたしきい値を超えた場合、効率とパフォーマンスを維持するために、サーバーを自動的に追加または削除できるソリューションがあります。自動アクションを起動できるように設定しておけば、IT部門の生産性は向上し、問題がエンドユーザーに影響を与える前に解決することができます。

5 長期トレンドを追跡できますか？

クラウド・プロバイダが提供するクラウド監視ツールがデータを保存する期間は、多くが30日間から60日間で、かなり限定的です。長期トレンドの分析には、少なくとも数ヶ月にわたるデータが必要です。1月のネットワーク・アクティビティは7月のネットワーク・アクティビティと大きく異なる可能性があります、30～60日間のデータしかなければ比較することはできません。長期的なネットワーク・アクティビティのトレンドが把握できれば、ネットワークをより効率的に運用し、時間と経費を節約できます。

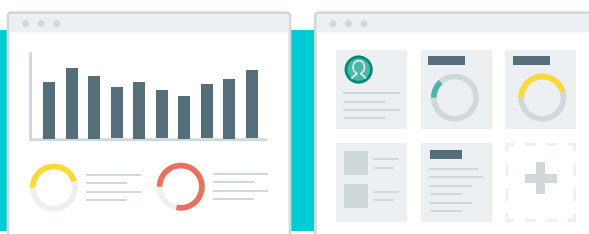
6 クラウドサービスの使用量とコストを追跡できますか？

クラウドサービスの拡張性は便利ですが、使用量が増えれば当然コストも上昇します。気が付かないうちにクラウド利用コストが驚くほど上昇してしまうのは避けたいものです。サーバーやルーターなどのオンプレミスのネットワーク機器に関しては、アイドルリソースは大きな問題ではありませんが、クラウドリソースは使用されていなくてもコストがかかり、使用されていれば課金されてコストは増大します。[クラウドリソースの使用量とコストを監視し、制限を超えた場合に警告する監視ソリューション](#)は、コストの管理に役立ちます。

7 エンドユーザーのエクスペリエンスを監視できますか？

いくら大丈夫そうに見えても、エンドユーザーが満足しているかどうかはわかりません。クラウドベースのアプリケーションを使用する際は、ユーザーがどういった経験をするのか知っておく必要があります。クラウド監視ソリューションは、エンドユーザーが経験するパフォーマンスの状況を把握するために、応答時間や使用頻度などのメトリクスを監視する必要があります。

優れたクラウド監視ソリューションは
カスタマイズ可能なダッシュボードを
サポートできます。



8 アウトプットは誰とでも共有できますか？

ネットワークオペレーションセンターがあるかどうかにかかわらず、ネットワークの状態とパフォーマンス状況は、誰にでも一目でわかるものでなければなりません。優れたクラウド監視ソリューションは、何がアップで何がダウンしているのか、何が大量に使用されているのか、何がアイドルかなどを表示する、カスタマイズ可能なダッシュボードをサポートできます。視覚化情報によって、問題が生じたときのトラブルシューティングが容易になり、問題になりそうな状況を検知してエンドユーザーに悪影響が及ぶ前に解決することも可能になります。レポート機能も重要で、各種利害関係者に適切なデータを簡単にエクスポートできることも優れたソリューションが有する機能です。グラフやチャートを簡単にエクスポートできるのか、それともデータをスプレッドシートにダウンロードして自分で生成する必要があるのか、確認してみてください。

9 継続的で充実したサポートを受けられますか？

クラウド監視ソリューションのどのベンダーもサポートを提供しますが、提供されるサポートの品質はベンダーによって異なります。ネットワーク問題は、都合よく業務時間の9時から5時までの間に発生するとは限らないので、サポート可能な時間が日中だけに限られていたら具合が悪いかもしれません。いつサポートを受けることができるか、そのサポートはどこで行われているのか、そしてサポートがソリューション開発者からのものなのか再販業者からのものなのかをチェックしてください。また、ベンダーによっては異なるレベルのサポートを異なる価格で提供することがあるので、サポートにかかるコストも詳細にチェックするべきでしょう。最後に、ベンダーがアクティブな顧客コミュニティを持っているかどうかを確認します。遭遇した問題への解決策が、すでにコミュニティ内に投稿されていると聞いたこともよくあるものです。

まとめ

クラウドリソースを監視する必要があると判断し、上記のすべての質問をチェックした上で、最終的にネットワーク環境全体の監視ソリューションを選択することになります。組織にとって**効果的なクラウド監視ツール**が何かを見極めてください。中でも最も重要な要件は、クラウド・プロバイダからの情報をいかにうまく統合できるか、他のネットワーク環境との関連でその情報をどの程度うまく活用できるか、エンドユーザーに影響が及ぶ前に潜在的な問題をプロアクティブに解決できるかどうかなどです。エンドユーザーにネットワーク問題の影響が及ぶと、大きな機会損失につながります。優れたネットワーク監視ソリューションを使用すれば、問題を指摘してから対応に走るのではなく、起こりつつある問題を積極的に検知してユーザーに影響が及ぶ前に解決することが可能になります。

プログレスについて

プログレス (NASDAQ: PRGS) は、戦略的ビジネスアプリケーションを開発、展開するための先進的プラットフォームを提供しています。お客様とパートナーは、わずかな労力、時間、コストで、インパクトの大きい最新のデジタル体験を提供できるようになります。プログレスは、あらゆる種類のデバイスやタッチポイントで適応性のあるユーザーエクスペリエンスを簡単に構築するための強力なツール、最新のアプリを提供するためのクラウドネイティブアプリ開発プラットフォームの柔軟性、最先端のデータ接続技術、Webコンテンツ管理、ビジネスルール、安全なファイル転送、ネットワーク監視、そしてアプリケーションに認知機能を追加することが可能になる受賞歴のある機械学習を提供します。

1,700を超える独立系ソフトウェアベンダー、10万社の企業顧客、および200万人の開発者が、プログレスの製品を使用してアプリケーションを強化しています。詳細については、ホームページ www.progress.com をご覧ください。